

# 近大模試

## 『英語』 解説講座

専修学校 夕陽丘予備校

◇ 出題形式 ◇

● 試験時間	60分
● 問題数と配点	全45問 / 100点満点
● 目標点	80点～
● 英文難易度	並
● 設問難易度	並

問題形式	I 会話文【12点】						II 中文空所補充【12点】					
個別配点	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
難易度	並						並					
時間配分	8分						8分					

問題形式	III 4択文法【16点】								IV 同意文選択【8点】			
個別配点	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
難易度	並～やや難								並			
時間配分	8分								4分			

問題形式	V 定義指定語選択【10点】					VI 整序英作文【16点】								
個別配点	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
難易度	並					並～やや難								
時間配分	4分					8分								

問題形式	VII 長文読解【26点】								
個別配点	3	3	3	3	3	3	3	4	4
難易度	並								
時間配分	20分								

★ 目標点の取り方【各大問どれだけ落としてもいいのか】

得点例	7割を目指す場合 (70%)	8割を目指す場合 (79%)
I 会話文	8点 (2問ミス)	10点 (1問ミス)
II 中文空所補充	8点 (2問ミス)	10点 (1問ミス)
III 4択文法	10点 (3問ミス)	12点 (2問ミス)
IV 同意文選択	6点 (1問ミス)	6点 (1問ミス)
V 定義指定語選択	8点 (1問ミス)	8点 (1問ミス)
VI 整序英作文	10点 (3問ミス)	10点 (3問ミス)
VII 長文読解	20点 (2問ミス)	23点 (1問ミス)

必要な力を大別すると...

① 語彙力

出題される知識は徐々に難しくなっている。2000語収録されている一般的な単語帳の場合は 1500words 程度覚える必要がある。

② 品詞と文型を使う力

大問3つ (II・III・VI) は文法を中心とした問題である。特に 品詞と文型を使う力がよく問われる。 英文解釈や文法問題を利用して、文構造を徹底的に鍛えよう。

③ 文法全般の理解と暗記

難しい知識を問うことはないが、文法の理解力をはかるため、出し方が難しい問題がある。 また、VIの整序問題は毎年正答率が悪い。文法、構文をしっかりとおさえ、使う力を身に付けるために相当な学習量が必要だ。

④ 英文解釈力・長文読解力

長文は内容合致中心だが、英文解釈を鍛えておけば十分に解ける。しかし、ある程度長文を読み慣れておく必要はあるので、長文問題は日頃から解いておこう。ちなみに会話文はひっかけは多いが、傾向対策をすれば問題なく解くことができる。

## ◇ 大問別解法 ◇

### I 会話文問題

【配点 12 点】

#### ポイント

- ・ 推測力
- ・ 頻出の文法
- ・ 会話表現

#### 方針

#### ① 人物の関係と会話の場面をイメージして読む！

誰が、どこで話をしているのか具体的にイメージして本文を読むことで、テーマの把握はもちろん、お互いの発言内容を予想できる。

#### ② 根拠のパターンを知る！

##### (1) 疑問 → 応答 の流れに注目する

空所の前後に疑問文がある問題なら、疑問と応答の流れが適切かを確認する。

Do you ~ ? など一般疑問文では Yes / No やそれに相当する語から始まるし、5W1H なら具体的な返答がくるようになっている。一部、疑問から疑問を逆に返すパターンなどもあるが、疑問と応答が適切かを確認する点では同じである。

##### (2) 直後の文章にくる新情報、旧情報に注目する。

答えの根拠の大半は次の文章にくる。空所の直後の文はしっかり読むこと。

その際、新情報(初めて登場した単語)がある場合、旧情報(代名詞、省略)がある場合には答えの根拠となる。それらを利用して、空所に入る選択肢を予想して選びにかかろう。また、最新の問題ではひっかけの選択肢のレベルが上がっているため、最後には必ず消去法でミスがないかを確認すること。

## Ⅱ 中文空所補充問題

【配点 12 点】

### ポイント

- ・ 品詞と文型
- ・ 英文解釈力
- ・ 語彙力

### 方針

#### ① 初めから文章を読み始める！

この大問では文型をとり、空所に入る品詞を具体的に予想することが重要だが、近年では文章のレベルが高いものがあり、そもそも読むのが難しいものがある。まずはⅦの長文と同じように、文章のテーマ、流れを理解しよう。

#### ② 品詞を具体的に推定 → 文脈 の順で解く！

空所を含む文に来たら、文型をとり、品詞を具体的に特定すること。例えば空所に動詞が入ると分かれば、それは自動詞なのか、他動詞なのかを確認したり、名詞が入ると分かれば、名詞なのか動名詞なのかといったようにである。

基本的には選択肢に同じ品詞が均等な数あるので、本文から推定した品詞に合う選択肢を見て答えを絞ろう。空所1つにつき2～3個しか該当する選択肢がないので、文脈から考えるよりはるかに効率よく解ける。

品詞を見抜いた後に答えの候補が複数あれば、空所を含む一文を和訳して、文脈から合うものを選ぼう。

なお、近年では本文のレベルが難化したのに伴い、選択肢の単語がそもそも難しかったり、熟語を問うものまで出題されているため、単語と熟語は入念に対策しよう。また、稀に多機能語(複数の品詞で使える単語)も登場するため、どうしても答えがきまらない場合は、先に解きやすい問題から攻めるようにすること。

**ポイント**

・ 品詞と文型

・ 文法語法の知識

**方針****① 文型を把握し、品詞を特定する！**

大問Ⅱと同じように、品詞と文型を中心に問題が出される。また、知識は簡単だが出題の仕方が難しいので、何が問われているかを見抜く必要がある。そのため、問題に差し掛かるときは文型を主語から把握し、どのような品詞が入るかを特定することから始めよう。実際、この作業だけで答えが決まったり、逆にこの作業をしないと解けない問題が出題されている。

**② 選択肢を見て、分野別のポイントに絞る！**

品詞を特定した後は、選択肢を参考に問われている分野を特定し答えを出そう。例えば、選択肢に which, where などがあれば関係詞の範囲と推測し、節中の構造に注目しよう。また、どの分野なのか判断しづらい問題もあるため、そういう場合は選択肢の違いに注目してみると解きやすい。

他の選択肢がなぜ不正解なのかを確認するために消去法を行うこと。この大問ではケアレスミスさせる問題が多い。

## IV 同意文選択問題

【配点 8 点】

### ポイント

- 基本の熟語
- 推測力
- 難熟語力 (取れなくてよい)

### 方針

#### ① 問われている熟語を特定し、選択肢に言い換えを探す！

この問題で問われているのは熟語の部分のみなので、知っている知識であればその言い換えに焦点を絞り、選択肢を見る。過去問のデータでは、この作業を行うだけで正確に解答が出ることがわかっている。

#### ② 知らない熟語の場合、下線部の知識で推測する！

下線部の単語、文法より直訳で何が言いたいのかを考える。

#### ③ 完全に文脈で判断する！

①も②も不明な場合は周りの文脈を見てありえないと思う選択肢を消去し、残った選択肢から妥当性の高い方を選択する。あまり時間をかけ過ぎないように気を付けること。稀に難熟語問題が出題されているが、点数を落としても合否に影響はない。

## V 定義指定語選択問題

【配点 10 点】

### ポイント

- ・ 語彙力
- ・ 推測力

### 方針

#### ① (a)の定義から選択肢を絞る！

出題される単語の意味を全て覚えており、(a)の定義文を理解できると答えが決まるように作成されている。定義文をよく読んで、知っている知識を当てはめてみよう。なお、(a)の意味がはっきりせず、答えに迷う問題では②の方針まで進む。

#### ② (b)の一文に当てはまるもの、および前後の熟語から解く！

(a)だけで答えに迷う場合、一文の意味から空所を類推して考える。他の大問対策で学習した熟語や文法で考えることができるのもポイント。

この大問対策として単語帳はもちろん、過去に出題された選択肢を覚えていこう。なお、この大問で扱われる単語は問題作成の時に引用されるだけでなく、すべての大問に出題される単語となっている。



## VI 整序英作文問題

【配点 16 点】

### ポイント

・ 品詞と文型

・ 文法・構文力

### 方針

#### ① 日本語の文構造を確認する

まず日本語に目を通し、どのような意味を完成させるのかイメージしておく。また、日本語に目を通した段階で典型的なパターン(無生物主語構文など)を見抜ける場合もある。

#### ② 文型を考え、その次に入る品詞を決めていく！

前から文型をとり、次にくる品詞を決めていく。第一に文型と品詞の理解を問う問題であるので、この作業でしか答えが決まらない問題も多い。

頭の中だけで答えを考えたり、記号で並び替えるのではなく必ず英語で書き、文型をとりながら考えるようにすること。

#### ③ 頻出構文・熟語を選択肢から見抜く！

①②の手順でわからない場合は、構文・熟語を問う問題の可能性が高く、選択肢から知っている知識を組み合わせて解答作成に用いる。参考書や過去問対策で多く知識を取得していればいるほど、構文や熟語を問う問題には強くなる。

この大問の得点は高く、受験生全般が苦手とする問題なので、毎日勉強することが重要。文型と品詞を正しく利用する力がつければ、英文を読む力自体も強くなる。

## VII 長文読解問題

【配点 26 点】

### ポイント

- ・ 該当箇所を探す力
- ・ 英文解釈
- ・ 語彙力

### 方針

#### ① 全体よりも部分を重視して読む！

大意を掴むことは確かに重要だが、解答の根拠は原則一文の和訳で決まる。なので、どの部分に何が書いていたのかがわかるよう丁寧に読むべきである。ちなみに指示語問題(This / It / That が指すもの)なども出題される。

#### ② 段落ごとに内容合致を解く！

各問題・最後の内容合致問題ともに段落ごとに出題される。ほとんどが内容合致問題と言うことができ、全体の主旨というより、一文の言い換えを問うことが多いため、本文のどの部分を選択肢にしているのかを特定して考える。該当箇所を探さないとケアレスミスをするような問題が多いので注意したい。また、設問形式に「本文に合わないもの」が登場するので、問われている内容をよく確認してから解答するように。

#### ③ 選択肢中でひっかかるポイントを知る！

各選択肢を見て該当箇所を探し、内容が合っているかを照らし合わせる。なお、本文で該当箇所が特定できても、選択肢が長く単語も難しいため、日頃から構造把握と語彙力を高めること。また、最新の問題ではひっかけの選択肢のレベルが上がっているため、以下のポイントを中心に必ず消去法でミスがないかを確認しよう。

## ● 選択肢のポイント ●

### ★ 間違いの選択肢は本文の内容と真逆のことを書いている

本文の内容に not を付けただけのものや、逆のことを書いている選択肢が多い。

### ★ 絶対・誇張表現があればたいてい誤った内容

過去問の研究よりこれらの表現が含まれる選択肢は 90%程の確率で不正解であった。本文を読む時にはこの表現をチェックしながら進めるが、選択肢中にこの表現が突如現れた場合には×にした方がよいだろう。

※ なお近年では絶対表現でも正解する選択肢を増やしつつあるので、必ず本文を読み進める時にチェックしておくこと。

#### ① 限定的な意味「～だけ」

only / just / merely / purely / solely / exclusively / alone / nothing but / no more than /  
the 最上級 / except(～を除いて)

#### ② 全体的な意味「全部、必ず、どれも～ない」

all / both / every / always / all the time / consistently / constantly / necessarily / completely /  
fully / entirely / without fail / forever / for good / no ~ / not any / without any / regardless of  
/ neither A nor B など

※ not all, not every など上記の全体表現に not がついた場合は部分否定「～だとは限らない」の意味になるため注意。むしろ正解になる場合の方が多い。

### ★ 準否定表現があればたいてい誤った内容

選択肢中にこれらの表現があってもたいてい受験生は not の意味だと解釈していない場合が多く、よく出題されている。本文に無い限り、選択肢中にこの表現が突如現れた場合には×にした方がよいだろう。

little / few / hardly / scarcely / rarely / seldom / fail to など

## ★ 比較表現があれば対象・関係が正しく使われているか確認する

選択肢に比較があれば、まず本文で比較されてたか、比較の対象や意味の関係が合っているかを確認する。過去問のデータでは、この表現で受験生をひっかけることが多い。

### ① 「類似」の意味

as ~ as ... / the same as / like ~ / no ~ more (less) than ... / not ~ any more than など

### ② 「相違」の意味

more ~ than ... / rather than / be different from / other than ~ / unlike / despite / in spite of など

## ★ 因果表現・時系列表現が正しく使われているか確認する

選択肢中に因果表現があれば、まず本文にそのような因果が存在したか、因果・順番の方向は合っているかを確認する。過去問のデータでは、この表現で受験生をひっかけることが多いとわかっている。

### ① 理由 → 結果 を表す表現

be responsible for / cause / lead to / bring about / result in / contribute to / give rise to など

### ② 結果 → 理由 を表す表現

result from / come from / due to / be caused by / be produced by など

### ③ その他関係・順番を表す表現

have ~ to do with / be related to / be associated with / the same as ~ / have a ~ influence on / effect on / impact on / after / before / first / initially など

## ◇ 今後の学習内容 ◇

### ① 語彙・文法の徹底

単語・熟語・文法の3つを参考書で完璧にしよう。特に 4 択文法と整序問題は得点率の差が大きいので、旧センター試験の過去問や参考書を利用して、毎日少しずつ問題を解く習慣をつけておこう。

### ② 長文と音読の徹底

文法や英文解釈が中心とはいえ、旧センター試験の第6問や同程度の長さの英文を読み、音読するといった勉強を徹底し、長文の力も総合的に高めておこう。近畿大学の合格者には、長文を主に出題する大学を志望する受験生が多いことから、英語力を総合的に高めることに間違いはない。

### ③ 設問別対策

基礎が完了してからは、過去問を利用して近畿大学の大問別対策を学ぼう。大問それぞれをどのように読み進め、どう解くのか、またどういう点に注意しなければならないのかなど、近畿大学の対策は徹底的に行える。この段階まで実力を上げることができれば、本番で緊張することも、不用意に点数を落とすことも無くなるだろう。公募を目指すなら 9 月まで、一般入試なら 11 月までには大問ごとのイメージ、方針がはっきりしている状態まで学習すること。

### ④ 総合演習

大問別対策を実践で試すこと。大問別には得点がとれても、全体を通して問題を解いてみると意外にできてない部分が明らかになり、随時弱点を補うことができる。問題を復習する際には、過去問で出題された知識を吸収することにこだわろう。過去に出題された知識は利用・応用されるため、間違った設問や知識の補充は入念に行おう。また、日程・学部が違っても問題形式は統一されているため、1年分だけでもかなり問題演習ができる。早めに基礎を修了させ、問題演習にひたすら取り組もう。目指せ 9 割！

◇ 入試問題 ◇

次の各英文の空所に入れるのに最も適当な語句を、ア～エから一つ選べ。 (2020年 11月 16日)

13. Jim thought there was some cake in the refrigerator, but there was ( ).

ア. neither                      イ. never                      ウ. no                      エ. none

14. This computer is ( ) superior to the one I used to have.

ア. better                      イ. far                      ウ. further                      エ. too

15. The captain said all passengers had to stay in their seats with their seat belts ( ) until the plane got out of air turbulence.

ア. fasten                      イ. fastened                      ウ. fastening                      エ. to fasten

16. We should never stop trying to do our best, ( ) difficult the situation is.

ア. although                      イ. even if                      ウ. no matter how                      エ. whatever

17. The private detective suggested that the man ( ) investigated by the police.

ア. be                      イ. been                      ウ. being                      エ. to be

18. Strange ( ) it may sound, Bill likes studying rather than playing with friends.

ア. as                      イ. despite                      ウ. how                      エ. if

19. According to the class survey, Tom is ( ) of the two teachers for that course.

ア. as popular                      イ. most popular                      ウ. popular                      エ. the more popular

20. The summer sale began at the end of last month, and ( ) to continue until next Sunday.

ア. had expected                      イ. has been expected                      ウ. is expected                      エ. will expect

次の各英文の空所に入れるのに最も適当な語句を、ア～エから一つ選べ。 (2020年 11月 30日)

13. The Amakusa region has a religious area registered as a World Heritage Site, one of the sightseeing spots ( ) we recommend you to visit.

ア. how                      イ. that                      ウ. what                      エ. why

14. A tremendous amount of money donated by several well-known organizations ( ) invested in the local care facilities.

ア. had                      イ. has                      ウ. was                      エ. were

15. She does not get along with her husband and is always complaining of ( ) able to clean up after himself.

ア. him not to be              イ. his not being              ウ. not being him      エ. not to be his

16. When you get lost on a mountain in the winter months, ( ) possible means to keep yourself warm has to be considered.

ア. all                      イ. every                      ウ. several                      エ. some

17. It is somewhat uncertain ( ) politicians will vote for the legislation against online gambling or not.

ア. how                      イ. that                      ウ. what                      エ. whether

18. The medicine potentially causes a variety of serious side effects when ( ) together with alcohol.

ア. taken                      イ. takes                      ウ. taking                      エ. to take

19. Due to its effect on the fragile marine ecosystem, the dumping of plastic garbage has ( ) destructive of an effect on the environment for it to continue.

ア. much                      イ. such                      ウ. too                      エ. very

20. Far away across the ocean dominated by pirates ( ) the treasure the islanders fought so bravely to keep safe.

ア. lain                      イ. lie                      ウ. lies                      エ. lying